

●平成8～9年度役員・評議員候補者推薦のお願い

定款にしたがって平成8・9両年度の役員・評議員の選出を行ないます。スケジュールは次のとおり。

- 平成8年1月31日(必着) 候補者推薦締切
- 2月20日～3月18日 会員の書面による投票
- 3月末日 開票
- 4月22～26日の間(予定) 総会において決定

ついでに、下記により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 亀山三郎・山本 保

1. 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、社員(正会員または名誉会員)5名以上が候補者の略歴をつけて推薦する。(書式は次の書式にしたがってください)
2. 評議員候補者については社員5名以上が推薦する。(書式は次頁の書式にしたがってください)
3. 候補者は役員・評議員とも社員でなければならない。
4. 理事は会務の分担ごとに選挙するので、分担を明示すること。
今回選出する理事の会務分担および定数は次のとおりとする。
副会長 1名 庶務 1名 会計 1名 研究普及 1名 編集 1名 無任所 3名(うち支部所属者1名)
5. 監事の改選数は 1名

平成 年 月 日

役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成8～9年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

(副会長 庶務理事 研究普及理事 会計理事 編集理事 無任所理事 監事)として

_____ 氏を推薦致します。

推薦者(正会員および名誉会員5名以上)

(代表者) 氏名 _____ ㊟(所属: _____)

_____ ㊟ _____ ㊟ _____ ㊟
 _____ ㊟ _____ ㊟ _____ ㊟

候補者略歴(18字×6行以内)

上記の推薦に同意します。

氏名 _____ ㊟(所属: _____)

学
会
だ
よ
り

評議員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成8～9年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の評議員として
氏を推薦致します。

推薦者 (正会員および名誉会員 5名以上)

(代表者) 氏名 _____ (所属: _____)

_____	_____
_____	_____
_____	_____

●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年OR学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成8年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事例局宛にご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

【文献賞】大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(7年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

【実施賞】ORの実施を強く推進してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(財)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)等、企業が主な受賞者でした。

【普及賞】ORの普及に大きな貢献をした個人、グループま

たは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢豊、斎藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田 浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

【事例研究奨励賞】すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限り。なお、ソフトウェア部門は11月末日で締切りしました。

【学生論文賞】学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提供される学部卒の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成8年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

●平成8年度春季研究発表会

日 時:平成8年5月15日(水)～16日(木) 研究発表会
5月17日(金) 見学会

場 所:小樽商科大学 (小樽市緑3-5-21)

特別テーマ:「インフラとしてのOR」

実行委員長:若林信夫 (小樽商科大学)

実行副委員長:遠藤 薫 (小樽商科大学)

発表申込締切日:平成8年1月31日(水) 必着

(宛先) 〒060 札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学 経済学部 経営学科 木村俊一
Tel.011(706)3189 Fax.011(706)4947

E-mail: kimura@econ.hokudai.ac.jp

・研究発表は申込書およびアブストラクトの提出をもって

学会だより

申込み受付とします。

・申込書等請求先：日本OR学会事務局

問合せ先：小樽商科大学

加地太一 Tel. 0134(23)1101 内265

E-mail : kaji@otaru-uc.ac.jp

今 尚之 Tel. 0134(23)1101 内316

E-mail : kon@otaru-uc.ac.jp

●平成7年度第2回ORセミナー

「数理計画モデルの応用—構築と解法と分析」

日 時：12月14日(木) 9：30～17：15

場 所：東京ガス株本社会議室

(〒105 港区海岸1-5-20 Tel. 03(3433)2111)

オーガナイザー：大山達雄(埼玉大学)

概要：

数理計画モデルは現代における企業、社会、科学、工学等の諸問題の問題解決、そして意思決定に最もよく用いられている定量的分析手法の1つである。特に最近においてはパーソナルコンピュータの性能の向上、ワークステーションの普及ともなっており、かなり大型のモデルを構築すること、最適解を求めることが可能となっている。今後は分析手法、ソフトウェアのさらなる開発、発展ともなっており数理計画モデルの構築、求解がますます容易となり、一般へのより広範な普及が予想される。

本セミナーにおいては数理計画によるモデル分析の歴史的経緯、実際、将来展望を応用面から眺めてみることになる。

プログラム：

9：30～10：45 「数理計画モデルの概要と実際」

大山達雄(埼玉大学)

10：45～12：00 「モデル記述言語を用いた生産計画問題の解法」

渡辺展男(広島県立大学)

13：15～14：30 「市営バス路線決定問題に対する数理計画モデルの適用」

三村庄一(横浜市)

14：30～15：45 「非線形計画モデルの構築と解法」

矢部 博(東京理科大学)

16：00～17：15 「株式ポートフォリオ最適化と数理計画モデル」

竹原 均(筑波大学)

参加費：正・賛助会員25,000円、学生会員5,000円、非会員30,000円

申込み方法：OR学会事務局に参加申込書をご請求ください。

協 賛：経営情報学会、電子情報通信学会、日本応用数理学会、日本機械学会他

●研究部会・グループ開催案内

[意思決定とOR]

日 時：12月8日(金) 13：15～16：45

場 所：高岡短期大学研究棟2F映像利用室(富山県高岡市二上町180)

Tel. 0766(25)1111 (JR高岡駅よりバス15分)

テーマと講師：(1)「ネットワーク上のコスト配分について」

成瀬喜則(富山商船高専)、菊田健作(富山大学)

(2)「On single machine scheduling with generalized due dates」

keisuke Tanaka, Milan Vlach

(北陸先端科学技術大学院大学)

(3)「優先権のある待ち行列について」

片山 勲(富山県立大学)

問合せ先：高岡短期大学産業情報学科 近藤 潔

Tel. 0766(25)9148 Fax. 0766(25)9216

富山県立大学工学部 中島恭一

Tel. 0766(56)7500 内459 Fax. 0766(56)8022

[評価のOR]

日 時：12月9日(土) 14：00～16：40

場 所：青山学院大学総研ビル(正門を入ってすぐ右手) 6 F14603教室

テーマと講師：(1)「DEAにおける効率値の弾力性について」

佐藤潤子(海上保安庁)

(2)「DEAにおける特異値分解の活用について」

野口 弘(東洋紡)、石井博昭(大阪大学)

(3)「第34回シンポジウムを終えて」

刀根 薫(埼玉大学)、上田 徹(成蹊大学)

終了後、懇親会を予定しています。これまでご参加いただいていない方もこれを機会にご参加いただければ幸いです。

問合せ先：成蹊大学 上田 徹

Tel. 0422(37)3793 Fax. 0422(37)3869

E-mail : ueda@is.seikei.ac.jp

[数理計画法・ORソフトウェア合同セミナー]

日 時：12月16日(土) 14：00～17：30

場 所：青山学院大学総研ビル10階 第18会議室

テーマと講師：(1)数理計画法研究会

「集団意思決定を支援するグループ数理計画法

—グループDEAとグループAHPについて」

(キーワード：グループ意思決定、DEA、AHP、GDEA、GAHP) 山田善靖(東京理科大学理工学部)

(2)ORソフトウェア研究会

「数学ソフトウェア小話」

鳥居達生(名古屋大学工学部)

部会終了後18：00から懇親会を予定しています。

問合せ先：(数理計画法研究会)東京理科大学

工学部 経営工学科 矢部 博

Tel. 03(3260)4271 内3560, 3545 Fax. 03(3235)6479

E-mail : yabe@jpnst20.bitnet

統計数理研究所 予測制御研究系 伊藤 聡

Tel. 03(5421)8756 E-mail : sito@ism.ac.jp

(ORソフトウェア研究部会)

青山学院女子短期大学 宮田雅智

Tel. 03(3409)8111 内3208

E-mail: miyasan@cc.aoyama.ac.jp

[COMのための生産計画・スケジューリング]

日 時: 12月21日(木) 18:30~21:30

場 所: 青山学院大学総研ビル9階 第16会議室

テーマと講師: 「生産管理とスケジューリングの関係—具体例から」 和田雅宏 (エイ・ケイ・ケイ(株))

講演者は、素材(建材)と部品(車両窓)の生産研究を進める中で、業体・形態でやり方(生産管理)が随分違うこと、違いが未整理でもスケジューリング理論を先行して応用すること、に困惑感を持つ。それでどうするのか、具体例にて考え論文(経営システム誌v. 5, n. 1)とした内容を話す。「実践」的「研究」の方向についてご意見を承りたい。

問合せ先: 東京大学先端科学技術研究センター 西岡靖之

Tel. 03(3481)4486

E-mail: nishioka@ai.rcast.u-tokyo.ac.jp

●会合案内

・第32回丸の内OR研究会

日 時: 12月13日(水) 18:30~21:00

場 所: 学士会館(神田錦町3-28)

テーマ: 「21世紀のファッションを展望する」

講 師: 田辺久美子(武蔵野美術大学教授)

参加費: 丸の内OR研究会会員(無料)

非会員(3,000円)当日受付でお支払いください。ただし参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先: トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生

Tel. 03(3457)6745

●日本工学会主催 100万人科学者・技術者代表集会

第5回基礎研究の振興と科学技術教育シンポジウム

「戦略的基本政策の推進を求めて」(案)

日 時: 12月18日(月) 9:30~17:20

会 場: 日本学術会議

(港区六本木7-22-34 Tel. 03(3403)6291)

主 催: 日本工学会 日本工学教育協会

共 催: 日本工学アカデミー 科学技術基本政策研究会

協 賛: 国立高等専門学校協会他、小・中・高理工系全国組織11団体、日本工学会加盟90学協会、学術法人法制定運動賛同185学協会、関連業界団体

プログラム:

9:30~9:40 開会挨拶

日本工学会会長 石川 六郎

〔第1部〕9:40~12:10 「産業の国際競争力強化と次世代を担う人材育成—科学技術教育は国力の基盤」

講 演

9:40~10:20 「理科教育について」

中央教育審議会会長 有馬朗人

10:20~11:00 「グローバル化する産業の求める人」

(株)日立製作所会長、日本工学教育協会会長 三田勝茂

11:00~11:40 「科学技術の魅力を子供達へ—青少年期に創造力への目覚めを」

都立小金井北高等学校教諭 米村傅治郎

報 告

11:40~12:00 「青少年科学技術フォーラム協議会の活動」

日本工業大学教授 木村 寛治

〔第2部〕13:30~17:20 「戦略的思考による科学技術政策—歴史的転換期における国家戦略」

講 演

13:45~14:25 「わが国の国家戦略の必要性—国民のための科学技術政策」

衆議院議員 中山太郎

14:25~15:05 「戦略研究と高度研究体制—わが国の学術体制の再構築」

日本学術会議会長 伊藤正男

15:05~15:45 「科学技術政策に関する国際的動向—わが国の科学技術政策の方向」

科学技術庁科学技術政策局長 落合俊雄

16:00~16:40 「高度産業社会の進展と生涯教育—若者から社会人までの知的社会への対応」

文部省生涯学習局長 草原 克豪

16:40~17:10 [総括] 「歴史的転換期にある科学技術政策」

日本工学会理事、日本学術会議第5部長 内田 盛也

〔懇親会〕

時 間: 17:30~19:30

場 所: 健保会館

会 費: 7,000円(当日特参)

参加申込み:

資 料 代: 2,000円(懇親会費を除く)
参加申込: 往復ハガキに氏名・勤務先・同住所・同電話番号・所属学協会名・会員番号を明記した上、返信ハガキ表に通信先住所・氏名を必ずご記入ください。

(FAXでのお申込みは受付ません)

懇 親 会: 懇親会参加希望の方は、その旨ハガキに明記してください。

申込期日: 12月11日(月) 必着

申 込 先: 〒107 港区赤坂9-6-41

(社)日本工学会「12月シンポジウム」係宛

Tel. 03(3475)4621

参加証: 参加証(返信ハガキ)を順次お送りいたしますので、当日ご特参ください。

●公募案内

・(財)大川情報通信基金 平成8年度研究助成

分 野: 情報・通信に関する研究。情報・通信に関する現

学
会
だ
よ
り

状分析, 予測調査, 意識調査等の各種分析の実施。

対 象: 個人およびグループ

助成金: 1件100万円で50件程度

助成期間: 原則として1年

応募期間: 10月21日~12月20日(必着)

問合せ先: 〒163-02 新宿区西新宿2-6-1

新宿住友ビル27階 俵CSK内

(財)大川情報通信基金事務局

Tel. 03(3344)1451 Fax. 03(3344)1640

・文教大学情報学部情報システム学科

募集人員: 教授1名

専門分野: 情報システムおよび関連専攻分野

応募資格: 博士の学位を有し最近3ヵ年に顕著な研究業績がある方, 原則として65歳未満の方。

採用予定: 1996年4月1日

応募締切: 1995年12月15日

提出書類: 履歴書, 学位取得証明書, 研究業績目録, 主要業績, 研究計画調書, 健康診断書。

問合せ先: 〒253 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100番地

文教大学情報学部情報システム学科長 安田寿明

文教大学湘南校舎総務課長 角田和昭

Tel. 0467(53)2111(代表) 0467(54)3703(総務課)

●国際会議案内

・第5回国際分類学会議(IFCS-96)(協賛)

日 程: 1996年3月27日(水)~30日(土)

場 所: 神戸国際会議場

(〒650 神戸市中央区港島中町6-9-1)

問合せ先: 〒106 港区南麻布4-6-7

統計数理研究所気付 日本分類学会

Tel. 03(3446)1501 Fax. 03(5421)8796

E-mail: ifcs96@ism.ac.jp

●第4回国際AHPシンポジウム

3年おきの国際AHPシンポジウムが, IFORS'96に引き続いてカナダのバンクーバーで開かれます。

日 程: 1996年7月13日~15日

(IFORS'96(7月8日~12日)に引きついでいます。)

会 場: Simon Fraser University(カナダバンクーバー郊外)

発表などの申込:

1) 論文発表(審査をされ, Proceedingsに印刷される)

応募締切: 1996年1月15日

2) AbstractおよびResearch in Progress(発表のみでProceedingsには印刷されない。)

応募締切: 1996年4月15日

問合せ先: 参加される可能性が少しでもある方は下記あてにFax番号を付けてお申し出ください, First Circularをお送りします。

文教大学情報学部 真鍋龍太郎

Fax. 0467(54)3721

E-mail: paf01301@niftyserve.or.jp

●平成8年度会費納入のお願い(事務局)

平成8年度の会費請求書をお送りいたしましたので, お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお, 7年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成8年度会費振替は平成8年1月22日(月)になります。振替金額の不足のないよう, 預金残高をご確認いただければ幸いです。

なお, 平成8年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は, 学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

会員名簿刊行のお知らせ

日本OR学会

1995年版の会員名簿(会員限定)が発刊されます。E-mail addressも登録され, 3年振りの改訂版です。購入ご希望の会員の方には, 1冊4,000円でおわけいたします。FAXもしくはハガキでお申込みください。(消費税は非課税です)

氏名・会員番号・代金支払方法(振込でお願いいたしますが, 請求書等必要の有無など)をご記入ください。

学会事務局年末年始休業のお知らせ(事務局)

平成7年12月29日(金)~平成8年1月6日(土)

全世界の OR に関する文献の Abstracts 専門誌 IAOR を活用しよう

IAOR (International Abstracts in Operations Research) は IFORS (International Federations of Operational Research Societies) が発行している。世界の OR 関係の論文および単行本の英文アブストラクト誌です。年 6 回発行され、約 2400 編のアブストラクトが収録されています。カバーされている雑誌は、主要なものだけでも 50 種を超えています。

内容は、モデル、実施例、理論の 3 つの部門にわかれ、その中がさらに細かく分類されています。著者索引および非常に便利な項目索引もあって文献を探すのにとても便利です。お申込みは当学会事務局へ。(申込締切: 12 月末日)

1996 年購読料: 10,000 円 (送料込)

雑誌 EJOR 購読者募集

European Journal of Operational Research (EJOR) は、Association of European Operational Research Societies (EURO) と North Holland 出版社との共同出版によるもので、1996 年は、Vol. 88-95 が発行されます。個人購入もできますが、当学会では、割引価格でお取り扱いしています。

発行回数: 年 24 回 (8 巻, 24 冊)

使用言語: 英語

内容: あらゆる分野における OR に関する優れた論文、連絡事項として、letters や新刊書 (最近 1 年間のもの) の批評、短評 (紹介)。1996 年購読料: 個人 40,000 円, 大学 300,000 円 (いずれも送料込) お申し込みは当学会事務局へ。(申込締切: 12 月末日)

APORS の論文誌 “APJOR” への

ご投稿とご購読のお願い

APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) は、その Official Journal という性格から、APORS 加盟各国から Associate Editors への参加が求められており、日本 OR 学会からは、若山邦紘教授 (法政大学) と茨木俊秀教授 (京都大学) が参加されています。これからも同誌を一層もり立ててゆくため、論文の投稿・雑誌の購読についてご協力をお願いいたします。

1996 年購読料: 2,000 円 (送料込)

雑誌はシンガポール OR 学会から貴殿宛直接送られます。(5 月・11 月発行予定) お申し込みは当学会事務局へ。(申込締切: 12 月末日)